



# 現代女性とキャリア連携専攻委員会 2013年度 推薦図書リスト

- ①書 名：知をそだてる保育ー遊びでそだつ子どものかしこさー  
著 者：秋田喜代美著  
発 行：ひかりのくに、2000年刊  
所 蔵：図書館目白 請求記号：376-Aki

高櫻綾子先生（児童学科）の推薦のことば：子どもの知的発達を育むと聞いて思い浮かべることは何だろうか？ 本書は、保育・教育現場での長年のフィールドワークを通して認められた「子どもたちが自ら遊びと暮らしの中に自分たちの文化を創り、発達している姿」を出発点に、園生活における子どもの豊かな世界と知的発達、それを支える保育実践について、心理学と教育学の知見に基づき論及している。新たな子ども観・育児観・保育観に出会える一冊。



- ②書 名：料理のなんでも小事典ーカレーはなぜ翌日に食べる方がおいしいの？ー（ブルーボックス；B-1614）



- 著 者：日本調理科学会編  
発 行：講談社、2008年刊  
所 蔵：図書館目白 請求記号：596-Ryo

飯田文子先生（食物学科）の推薦のことば：この本は、日本調理科学会の先生方がそれぞれ専門の研究成果をもとに一般にわかりやすい文章で執筆・編纂された小事典です。食に携わる人もそうでない人も楽しく読むことが出来ます。これまで技として伝えられてきた、いわばコツといわれるものの中には必ず科学が存在します。また間違った迷信を信じてしまっていることがあるかも知れません。この本を読み、是非料理上手になっていただきたいと思います。

- ③書 名：ソーシャルデザイン・アトラスー社会が輝くプロジェクトとヒントー

- 著 者：山崎亮著  
発 行：鹿島出版会、2012年刊  
所 蔵：図書館目白、図書館西生田、住居 請求記号：360-Yam

平田京子先生（住居学科）の推薦のことば：キャリアは自分のために身につけるものでもあるが、社会や地域を支える人材となって、社会的責任を果たすことも含まれる。

そのためには臨機応変な判断力と実行力を身につけておくことが求められる。コミュニティをデザインするという新しい職域を生み出した筆者は本書において、社会や地域を変えていく世界の事例をとりあげてその価値とプロセスを解説している。社会的責任と実行力を学びたい人々にとって好適な書といえよう。



- ④書 名：「これからの世界」で働く君たちへー伝説の元アップル・ジャパン社長の40講義ー

- 著 者：山元賢治著  
発 行：ダイヤモンド社、2013年刊  
所 蔵：図書館目白 請求記号：159-Yam

多屋淑子先生（被服学科）の推薦のことば：勢いのある明快な文章で一気に読み進めることができます。タイトルは、「これからの世界」で働く君たちへですが、この本は、「働く」という動詞が示す枠を超えて、「これからの世界」でどのように「生きていくか」が述べられています。今、自分の考え方や生き方を探っている方がいる場合、この本から、日本人として、「どのように生きるべきか」「何を目指すべきか」の指針が得られるのではないのでしょうか。ご一読下さい。



- ⑤書 名：「僕のお父さんは東電の社員です」ー小中学生たちの白熱議論！3・11と働くことの意味ー

- 著 者：毎日小学生新聞編；森達也著  
発 行：現代書館、2011年刊  
所 蔵：図書館目白 請求記号：543.5-Bok

秋元健治先生（家政経済学科）の推薦のことば：東日本大震災後の福島第一原発事故。事故の収束のすすまないなか、人びとの放射能不安と東京電力にたいする非難の声が高まっていた。そんな頃、毎日小学生新聞に一人の小中学生の問いかけが掲載された。「僕のお父さんは東電の社員です」で始まる文章は、「悪いのは東電だけ？ それとも大人たちみんな？ 東電の社員一人ひとりには真面目な人が多い。なぜこんな無責任な悲劇に結びついてしまうのか？」この新聞のコラムでは、全国の小中学生が参加した白熱した議論がわきおこった。森達也氏が、現代社会に生きる可能性と覚悟を問いかける。



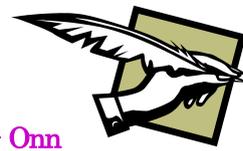
⑥書 名：女たちの戦争責任

著 者：岡野幸江 [ほか] 共編

発 行：東京堂出版, 2004 年刊

所 蔵：図書館目白, 図目上代平和, 図書館西生田 請求記号：367.21 - Onn

倉田宏子先生（日本文学科）の推薦のことば：従来、女性と子供は戦争の犠牲者として位置づけられてきました。それに対し本書は、満州事変から日中戦争へ、さらに太平洋戦争へと続いた「十五年戦争」下で、女性たちがどのように戦争とかわかっていったのかを見極めることを意図した書です。とりわけ女性作家および女性文学が日本の軍国主義のなかで果たした役割、すなわち戦争責任を見据え、そこに至った原因を究明しています。女性と戦争とのかかわりを解明することによって、今日的状況下で私たちがいかに生きるべきかを照らす指針ともなる一書といえるでしょう。



⑦書 名：女性の権利を擁護するーメアリ・ウルストンクラフトの挑戦ー

著 者：梅垣千尋著

発 行：白澤社, 現代書館 (発売), 2011 年刊

所 蔵：図書館目白, 図書館西生田, 院英文 請求記号：367.2 - Ume

佐藤和哉先生（英文学科）の推薦のことば：2013 年 6 月の都議選で、127 名の当選者のなかに 25 名しか女性がいなかったことをご存じですか。そういう現実

を前に、古典を読むというのは、遠回りなようでも、根本から批判できる視座を得るための手段として有効です。本書は、女性の権利を主張したイギリスの古典、『女性の権利の擁護』（1792 年）を、著者ウルストンクラフトの生涯、時代背景や思想状況を説明したあとで、本文に即して丁寧に解説した本です。決して易しい本ではありませんが、じっくり取り組むに値します。

⑧書 名：貴婦人と一角獣

著 者：トレイシー・シュヴァリエ著；木下哲夫訳

発 行：白水社, 2005 年刊

白水社, 2013 年刊 (白水 U ブックス ; 181. 海外小説の誘惑)

所 蔵 (2013 年刊)：図書館目白 請求記号：933 - Che

高頭麻子先生（史学科）の推薦のことば：2013 年に初来日したフランス中世の美しいタビスリーをめぐる小説。作者は『真珠の耳飾りの少女』で知られる英国在住の米国出身女性で、今回も有名な美術作品にちなんだ物語である。もちろん大部分はフィクションであるが、実在の絵師、タビスリー織物師、注文主の記録や、当時の社会背景、工芸制作のプロセスなどをよく調べた上の作品である。とりわけ、親の決めた相手に嫁がされる娘、後継ぎの男子を生めなかった妻の悲哀、創造的な分野での女性の役割の限界、召使たちの犠牲と仕返しなど、女性たちの精一杯の生き方が興味深い。



⑨書 名：100 年前の女の子

著 者：船曳由美著

発 行：講談社, 2010 年刊

所 蔵：図書館目白, 図書館西生田 請求記号：367.21 - Fun

奥村幸子先生（数物科学科）の推薦のことば：本書は、1909 年生まれの著者の母親が、米寿を過ぎた頃から娘に語り出した、幼少から結婚するまでの自分の生き立ちと故郷の思い出をまとめたものです。学生の皆さんからは曾祖母にあたる年代の女性が、100 年前にどのようにして自分の人生を切り開いていったのかが、当時の暮らしとともに生き生きと描写されています。（東京に出てきた主人公が、大学の夜学に通うあたりでは、本校に通う女子学生のことも語られています。）

⑩書 名：二重らせんの私ー生命科学者の生まれるまでー

著 者：柳澤桂子著

発 行：早川書房, 1995 年刊

早川書房, 1998 年刊 (ハヤカワ文庫 ; NF223)

所 蔵：図書館目白 (1995 年刊), 英文 (1998 年刊) 請求記号：460.4 - Yan

永田典子先生（物質生物科学科）の推薦のことば：生命科学者である著者が自らの半生を描いた長編エッセイです。生命の不思議に魅せられた少女が、その純粋な探究心を育み研究者の卵となり、留学先で最先端科学に触れて大きく成長します。現代生命科学の主流である分子生物学の幕開けともいえる黄金時代のお話です。著者の真理を探究する情熱と喜びに溢れ、読む者を清々しい思いにさせてくれる名著です。専門的な話もわかりやすく解説されていますので、科学の苦手な方でも大丈夫です。

